

はじめに

本年度は、昨年度の体育・スポーツにおける政策・運動・理論動向の分析と課題の析出というテーマを引き継ぎながら、さらに焦点をしばって分析を深め、当面する課題を明らかにする方向で共同研究を進めてきた。秋合宿のテーマ「現代社会のスポーツ動向と学校体育」や春合宿のテーマ「90年代のスポーツ運動と体育・スポーツ論」は、それを意図して設定されたものである。

秋合宿（1988.11）では、国際的視野からオリンピックの歴史におけるソウルオリンピックの位置づけの検討と、国内の教育改革動向の一つの焦点である学習指導要領改訂の検討を行なった。また、春合宿（1989.4）では、最近のスポーツ論とスポーツイデオロギーの動向分析、民主的スポーツ運動の現状と課題、および高等学校および大学における保健体育の改革動向と問題点の検討を行なった。

これらで、現代日本の体育・スポーツの動向把握と情勢分析が十分になしえたとは言えないが、少なくとも私たちなりに一定の分析と課題の確認ができたように思われる。今後それぞれに分析の深めと課題の研究がなされていくに違いない。来年度は、昨年来のこうした基本的作業を土台にした研究の前進が期待される。

ところで、私たちの共同研究が組織化されて20年近くになり、このような年報をまとめるようになって8年目を迎える。大学制度の改革の動きのなかで大学体育のあり方も問い直されようとしているとき、教育面にとどまらず、こうした研究面における存在の意味も合わせて確かめられねばならないのではないだろうか。

賢者の御指摘・御批判をいただければ幸甚である。

1989年5月27日

（藤田和也）